古代百二十九石九斗二升二合地方蜷井
興
西郡村山号古号大泉庄の立影を祝し
ゝるなり

一大龍山高安寺

古代百百五十三石六斗四合西郡二色ゝ面
酒井家御入部以後庄屋渡より始めしとい
ふ古始は加藤より始めり後より當城の西ようつ
を古は光安寺と書しとそ第光記小西屋
形を建て玉造より第光加藤浦より光安寺
を建て光安は西屋形の譯ゝ云ゝ伝正是と
謂といふ羽源記十一ゝ巻よりも西屋形光安
とあり西屋形とは第氏の事ゝ後より光安と
改称をし事も何りしなりや又第光拙記より
は第氏婚男光安とあり彼凡口より武蔵家の
飯六月結を玉又古代の三巳の飯あり子細
は左図拙記附録より要し抜書ゝ

一長龍山大智寺

酒井家の菩提所にして代ゝの御霊屋を
古代庄屋渡百五十石
以上城下にあり西の社寺ゝ至所古墓数多